

広報ちくわ

お知らせ版

風疹予防接種のお知らせ

—— 予約制です ——

県内で流行している風疹対策のため、八女医師会の協力です。予防接種をします。

風疹は、ウィルスによる発疹性の急性伝染病で、一般に、三日はしか、といわれます。

妊娠初期の妊婦がかかると生まれる子どもに先天性奇形児が生まれる恐れもあります。

風疹の予防接種を希望される人は、衛生課で受けつけています。

校区対抗親善野球大会

出場チームを募集

市教育委員会では、校区対抗親善野球大会を今月下旬から八月上旬ごろ開催の予定で、出場チームを募集しています。

チームの編成方法は、各校区単位で一チームを編成（市内居住者に限る）し、市野球連盟の登録とは関係なく出場できます。くわしくは勤労婦人センター内教育委員会社会教育課へ。

現況届は9月10日までに

児童扶養手当・特別児童扶養手当・福祉手当

右に掲げた各手当を受けてい

すので申し込んでください。

予防接種の日程はつぎのとおりです。関係書類は、衛生課で説明し、おわたしします。

■日程 七月二十八、八月十一日、八月二十五日（いずれか一日）、時間は、いずれも午後一時三十分～二時三十分

■会場 八女医師会館
くわしくは市衛生課へおたずねください。

る人は、八月十一日から九月十日までの間に所得状況届を提出してください。この届は毎年一回提出していただくもので、届けに必要なものは次のとおりです。

■児童扶養手当 (イ)児童扶養手当証書、(ロ)印かん、(ハ)離婚、死亡のときは家族の住民票、(ニ)遺棄の場合は申立書

■特別児童扶養手当 (イ)特別児童扶養手当証書 (ロ)印かん

■福祉手当 (イ)印かん
提出先、お問い合わせは福祉事務所福祉係へ。

課の配置がわかります

七月三十日から、教育委員会

総務課、学校教育課、衛生課、福祉事務所が、別館（旧中央公民館）へ移ります。

同日は、移動などで混雑が予想されますので、用件は早目にすませてください。

不動産を取得された人へお知らせします

昭和56年度の地方税法の改正で、今年の七月一日以後の取得分から、税率百分の三が、百分の四に、また、特例適用住宅は住宅控除三百五十万円が四百二十万円に改正されました。

ただし、住宅は昭和六十一年六月三十日までは百分の三の税率がすえおかれます。

特例適用住宅とは床面積の合計が百六十五㎡以下で、価格（評価額）が一㎡当八万七千円以下の住宅です。

くわしくは筑後財務事務所（電②五一三三）へ。

「サマージャンボ宝くじ」発売

七月十五日から二十四日まで

「サマージャンボ宝くじ」（別称・市町村振興宝くじ）の予約受けがはじまります。

この宝くじの収益金は、豊かな住みよい私たちの街づくりに役立てられます。

申込方法など、くわしくは、七月十五日の新聞（朝刊）をご覧ください。

訪中帰国報告会

六月四日から十五日まで中国東北地方（ハルビン・長春・瀋陽など旧満地方）を訪れた筑後市中国訪中団（木下秀吉団長12人）の帰国報告会を開きます。

■日時 七月二十四日午後五時半から二時間

■会場 勤労婦人センター二階談話室

入場はどなたでも自由。遠慮なくご参加ください。

めいわくをかけていませんか

車・自転車・歩行者のめいわく交通をなくす運動をすすめています



7月21日～8月20日
夏の交通安全運動期間



7月 は同和問題強調月間です

あなたもぜひ参加を

同和問題を正しく学ぶために

各講座・講演会のご案内

まちがった認識が差別のもと

人間はみな、だれでも、この世に生をうけた以上、人間らしく生きたい、自由で幸せにくらしたいと願っているはずだ。

その幸せに生きるあなたの権利（基本的人権）が、他人によって不当に踏みつけられたとしたら、あなたは、それを許せますか。

決して許せないとはいえず、同時に他人の幸せを踏みつけにしている道理はありません。

しかし、いまなお、この世の中で同和地区出身という理由だけで就職をはばまれる、結婚や交際も断られる、侮べつ発言をうける自分の出身地を胸をはって名乗れない……。つい今月初めのことですが、

八女郡星野村の村長選挙で相手候補を「同和地区出身だ」といって中傷攻撃の手段に部落差別を利用するという悪質な差別事件さえおきています。

こんな差別が、いま各写真は、七月一日、駅前通りで、「同和」問題啓発のパンフを配付する中尾市長たち。

地域や職場、そして中学校や高校でも続発しているのです。

そして、これらの差別事件の背景をたどると、すべて同和地区のおこりについてのまちがった知識同和問題についてのゆがんだ意識予断と偏見に根ざしています「差別は悪いことだ」とわかっているはずなのに差別がおきる。

これは、同和問題について正しい知識や認識が欠けているからだといつても過言ではないようです。

同和問題を解決する手だては、行政の施策、解放運動と並んで市民の皆さんの正しい理解と学習にあります。さいわい今月は県下い

つせいに同和問題啓発強調月間でいろいろの学習・啓発事業が計画されています。同和問題を正しく学ぶために、あなたもぜひ参加してみませんか。お待ちしております

6回連続の初歩入門

「同和」教育講座

■主催 市教育委員会、中央公民館

■会場 サン・コア（勤労婦人センター）

■受講者 参加はどなたでも自由です。託児もします。

■期日及びテーマ

①7月24日「同和」問題と私のかかわり

②7月29日「生きている部落差別

別

③8月7日「被差別部落の歴史

④8月17日「解放運動のあゆみ

⑤8月21日「同和」対策事業

の意義と内容

⑥8月26日「同和」問題はみ

んなの課題

■時間 (1)昼の部 午後1時30分

～4時 (2)夜の部 午後6時30

分～8時30分

■募集人員 昼・夜とも各50人

■受講料 テキスト代500円

■申し込み 7月20日までに社会

教育課（サン・コア内、電話

③2516）まで申し込むこと

■講師 テーマごとに専門家を予

定しています。

八女市でひらく県

「同和」教育夏期講座

■主催 福岡県「同和」教育研究協議会ほか3団体

■とき 7月26日（日）～27日

（月）午前10時～午後4時

■会場 ①第1会場（学校教育部

門）②第2会場（幼児教育及び社会

教育部門）③八女市町村会館

（託児もひきうけます）

■テーマと内容 「部落問題を県

民一人ひとりのものにして、部

落の完全解放を実現しよう」講

演と実践報告、討論など。

■参加費 千七百円（資料代）

■参加 どなたでも自由。直接会場にお出かけください。

久留米で同和問題講演会

■主催 福岡県、県教育委員会

■とき 7月31日（金）午後1時

30分～4時30分

■参加者 どなたでも自由。（当市

では各団体に要請もします）

■内容 ◎講演 「偏見と差別意識の構造」

◎講師 奈良教育大学教授中川喜

代子氏

◎映画 「若者たちの朝（あした）」

茶道教室の日程を訂正

勤労婦人センター講座

広報ちくご七月号と一緒に配布しました、勤労婦人センターでの講座「学級生募集」のチラシの中で、「茶道教室 裏千家……木曜午前、甲府煎茶……月曜午前 表千家不白流……金曜夜 江戸千家……木曜夜」とあるのは「裏千家……木曜夜、皇風煎茶……月曜夜、表千家不白流……金曜午前、江戸千家……木曜午前」の間違いでした。訂正しておわびします。なお、申込みは勤労婦人センターです。